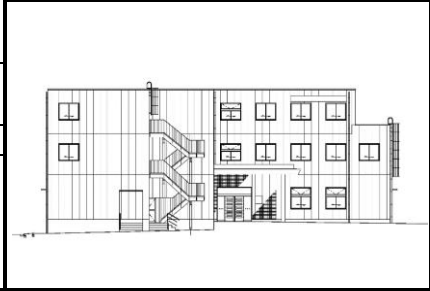


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医療法人知真会グループ 相模原事業計画	階数	地上3F
建設地	相模原市中央区横山台一丁目137番4,10,11,12,13	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域・準防火地域	平均居住人員	112 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年6月17日
敷地面積	1,920 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社 建築一級建築士事務所
建築面積	943 m ²	確認日	
延床面積	2,636 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 94%
 ③上記+②以外のオンサイト手法 94%
 ④上記+オフサイト手法 94%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	接道部に緑地を設け、近隣のまちなみ形成に配慮した。	その他
Q1 室内環境	開閉可能な窓より自然換気を取り入れ、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	必要部分に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内)
		LR2 資源・マテリアル
		LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される